

# 充分な議論とスムーズな議事進行を

常議員会議長 福田 耕治 (29 期)



### 常議員会議長就任にあたり

過去に2回程常議員の経験がありましたが、図らずも本年度の常議員会議長を仰せつかることとなりました。当初は、正直に言えば何とか大過なくやればいいか、といった気持でした。しかし、昨年度常議員会に上程された議案内容、本年度東弁・日弁連が抱える課題を見れば、常議員会の果たす役割の大きさを再認識しなければならぬことを気づくのには時間はかかりませんでした。東弁会員6200名余（12月には300名余の新入会員が新たに登録しています）という人数だけを考えても、身に余る大役であり、就任後身を引き締めて毎回会議に励んでおります。

幸い、会務に精通する論客、高田副議長が隣にいて、気持は大変落ち着いて会議に臨めておりますし、事務局の方々の適切で迅速な処理に支えられ、スムーズな議事運営が続けられております。

### 常議員会議長の職務

議長の仕事のノルマである、先進会員慰労パーティーにおける乾杯・運動会における万歳三唱も無事務めさせていただきました。これまでは所属する委員会等を通じて会務に関わる程度でしたが、わずかではあります。東弁全体の動きを知ることでもできるようになり、今は議長に就任したことで、仕事以外の面で弁護士としての視野が広がったと思えるようになっております。

### 本年度の常議員会

今年度は、法曹人口や貸与制等弁護士全体に関わる問題の外に、東弁における財政問題が特に重要な課題となっております。財政立て直しの方途・一般会計と特別会計の処理関係、日弁連における援助事業に係る会費増徴に関する東弁の意見集約等々の問題です。常議員会の中での活発な議論にとどまらず、既に2回に亘る意見交換会も行われております。そして、各議題に関し、それぞれの立場からのご意見は、本当に傾聴に値するものが多く、常議員の方々が常議員としての責務に真剣に向き合っている姿勢がよくわかります。

これに関連して、私にとって印象深いことがありました。援助事業の維持のために会費の増徴に関しての審議の際、ある常議員から、弁護士になったのは、何のためか、自らの手で弱者を救っていくという信念があったのではないか、このことを忘れて会費の増徴を論じるべきではない、という意見が述べられたのでした。議案の賛否についての意見ではありませんでしたが、そのことを離れ、自分の中で何か忘れていたことを思い出させてくれた意見として強く耳に残っております。

### 終わりに

さて、年度の半分以上を経過しましたが、今後もまだまだ重要課題は、山積しております。私が議長就任にあたってのテーマとしていた、議案については充分な議論を尽くすこと、一方で限られた時間の中でスムーズな議事進行に努めること、この2つを常に頭に置いて、残った在任期間、常議員会の舵取りを務めたいと思います。

## 常議員会副議長に就任して

常議員会副議長 高田 弘明 (41 期)



### 常議員会の役割

常議員会は、総会に次ぐ重要な意思決定機関とされてはおりますが、総会は臨時を含めて年に2、3回しか開催されないため、事実上、常議員会は国政における国会のような機能を営んでいるといえます。

### 副議長の職責

副議長の職責は、議長を補佐し、議長に事故あるときは議長の職務を行うこととされています。

しかし、福田議長が、極めてハイレベルな安定した議事進行をなさっているため、副議長がやることはほとんどありません。そのため審議中は、常議員会の発言者の会派別や期別の発言傾向を分析したり、自分であればどのような発言をするか考えて、緊張を維持するよう努めております。

### 時代の変化

常議員会の模様をツイッターで実況中継をなさる会員がいらっしやったり、iPad発売時には早速嬉しそうに操作されている若い会員がおられたり、端々に時代の変化を感じますが、議題の点での時代的变化としては、入会審査の議案が以前と比べて大幅に増えたことが挙げられます。就職の困難化から新人も五月雨式に入会してこられますし（即独も毎月のようにおられます。）、様々な理由から事務所を移動する人も多く、入会審査の議案が毎月必ず一定数あります。

### 常議員会の構成

常議員会は80名の常議員から構成され（定足数は20名）、うち女性が11名おられます。

期別の構成は、20期台2名、30期台11名（うち昨年度の副会長6名）、40期台20名、50期台39名、60期台8名となっており、50期台が約半数を占めておられます。

しかし、充実した審理の観点からは、上の世代の構成比をもう少し増やしてもよいのではないかと思います。今年も、前年度の副会長6名の方々は発言を積極的なさっていますが、やはり会務に通暁した方からの質問や意見は、他の常議員にとっても大変勉強になります。

### 沈黙は金

私は、会議体と名のつくものに出席して発言しないで終わることはほとんどないほど、発言好きな者ですから、議論に全く参加できない副議長の職は、なかなかにつらいものがあります。私が副議長に就任する際には、諸先輩から、「高田にとっては黙っておく良い訓練になる」という温かい(?)励ましの声を多数頂きましたが、確かに、長時間にわたり壇上に黙って座っているだけの副議長職は、私にとりましては、非常に良い訓練になっております。お陰で少しは忍耐力がついたように思われますし、沈黙は金とか謙譲の美德という、今まで長年にわたりないがしろにしてきた日本人としての美質をいささかなりとも習得できつつあるように思います。引き続き、人格陶冶に励んで参りたいと固く念じておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。